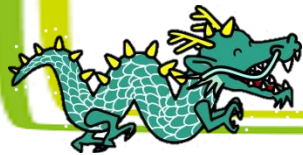


いゅうがく館だより

令和元年 8月号



子どもたちは夏休み真っ最中！大人たちは夏バテ気味ですね☆
事故やケガはもちろん、ハブにも気を付けて楽しく過ごしましょう♪

生涯学習講座、元気に活動中！



りゅうがく館が開講している生涯学習講座は32講座40教室（自主講座含む）。小学生から年配の方まで、幅広い年代の方に楽しく学んでいただいています。

秋には1日限りの特別講座も開催予定。詳しい内容は次回の「りゅうがく館だより」に掲載予定です。興味をお持ちの方は、ぜひりゅうがく館までお問合せ・お申込みください。

おねがい

図書室の本は町民の大切な財産です。
大切に扱い、返却期限を守りましょう。
もし汚してしまったり、失くしてしまった
場合には、お早めにご連絡ください。



～ 新着図書案内 ～

《一般書》

- ・『仁術先生』（大活字本）（渡辺 淳一/埼玉福祉会）
- ・『エキソチックが素敵 トルコ・イスタンブールへ』（クラリチェ・洋子/イカロス出版）
- ・『いまさら翼といわれても』（米澤 穂信/KADOKAWA）
- ・『ノーサイド・ゲーム』（池井戸 潤/ダイヤモンド社）
- ・『図説 ハブスブルク帝国』（加藤 雅彦/河出書房新社）
- ・『リンゴのお酒 シードルをつくる』（アドバンスブルーイング/農山漁村文化協会）
- ・『天才はあきらめた』（山里 亮太/朝日新聞出版）
- ・『花ごよみ365日』（雨宮 ゆか/誠文堂新光社）
- ・『希望の糸』（東野 圭吾/講談社） **他、合計62冊**

《児童書》

- ・『ころべばいいのに』（ヨシタケ シンスケ/ブロンズ新社）
- ・『パンダ銭湯』（tupera tupera/絵本館）
- ・『よのなかルールブック』（高濱 正伸/日本図書センター）
- ・『すいか！』（石津 ちひろ/小峰書店）
- ・『おーい、こちら灯台』（ソフィー・ブラッコール/評論社）
- ・『せきらんうんのいっしょう』（荒木 健太郎/ジャムハウス）
- ・『海の生きもの つかまえたらどうする？』（杉本 幹/偕成社）
- ・『ざしきわらし』（京極 夏彦/汐文社）
- ・『James and the Giant Peach』（Roald Dahl/Puffin Books） **他、合計43冊**



今月のおすすめ本

《一般書》



『みらいめがね それでは息が詰まるので』（荻上 チキ/暮らしの手帖社）
雑誌『暮らしの手帖』の人気連載が1冊になりました！気鋭の評論家でラジオパーソナリティも務める荻上チキ氏の文章と、人気絵本作家でもあるイラストレーター・ヨシタケシンスケ氏のイラストが織りなす新感覚エッセイ。荻上氏が投げかけるテーマ（多くは荻上氏の個人的な話）にヨシタケ氏が応えるかたちで、一つのテーマを二人の視点から解き明かしていきます。「～すべき」「～らしさ」という規範や、もやもとした不安にとらわれた心を、ゆっくりとほぐしてくれる素敵めがね。あなたもかけてみませんか？

《児童書》



『クジラのおなかからプラスチック』（保坂 直紀/旬報社）
死んだクジラやウミガメのおなかの中から大量のレジ袋が出てきた…というニュースを、よく目にするようになりました。また、小さくなったプラスチックの破片「マイクロプラスチック」を魚がプランクトンと間違えて食べてしまい、その魚を人間が食べることで人体への影響も心配されています。いまや、体内にマイクロプラスチックを取り込んでいない人の方が珍しいと言われるほど。学校で、家庭で、地域で、海洋プラスチックごみ問題の最前線を知り、これからどうしていけばいいかを考えるために最適な1冊です。